

Drilling Down: アフターコロナのLNG市場概況

価格下落が新規および小規模市場プレーヤーにもたらす可能性

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) やその他さまざまな事象により、液化天然ガス (LNG) 市場のダイナミクスが変化しています。業界専門家たちは2020年半ばまでに市場の引き締めが起こると見込んでいましたが、その予測通りには進まず、広範囲にわたる供給過剰により価格の下落圧力が強まっています。

KPMG Global Energy Instituteがお届けするDrilling Downシリーズの本レポートでは、関口美奈 (KPMGジャパン エネルギー・インフラストラクチャーセクターヘッド、あずさ監査法人 エネルギー・インフラストラクチャー事業室室長、マネージングディレクター) およびChristopher Young (KPMG英国、エネルギー戦略&オペレーション、ディレクター) が、アフターコロナの世界に広がる新たな現実を見据えたLNG市場の潜在的な予測シナリオや、価格の下落が小規模な新しいプレーヤー層を生み出す可能性について議論しました。

ビフォーコロナのLNG市場スナップショット

ちょうど1年前にヒューストンで開催されたKPMG Global Energy Conferenceにおいて、KPMGは、過去最大数の最終投資決定 (FID) により供給過剰が生じることから、2020年上半期を通じてLNGの供給過剰が続き、その後市場は若干引き締まると予測しました。

しかし、COVID-19によるパンデミックおよびその他の重大な事象により、結果としてこの強気な予測通りにはなりません。

まず、2019年後半に北東アジアが異常な暖冬となり、当該地域におけるLNG需要が予想を下回りました。そして、それによる供給の余剰分のカーゴは欧州に向かいました。欧州ではアジアで余剰となったLNGを備蓄できるだけの設備があり、低価格に乗じてアービトラージを取り、必要なときに利用するためのLNG在庫を積み増すことができました。(アジアから欧州へのこのLNGの輸送は、需給バランスを保つために、世界的なLNGエコシステムで欧州が果たすことのできる役割の一例と言えるでしょう。)

その後、2020年3月にはサウジアラビアとロシアの間の市場争いがもたらしたサウジの増産により原油価格は暴落し、数日間1バレル当たりの価格がマイナスで推移しました。原油価格の下落に伴い、LNGスポット価格も下落しました。例えば、JKM (Japan Korea Marker) の5月末時点におけるスポットは2米ドル/百万BTU未満となり、1月末の水準である約6米ドル/百万BTUから67%下落しました。

原油市場におけるボラティリティは過剰反応ではありませんでした。供給過剰の問題は深刻であり、サウジアラビアが減産を行うことが唯一の解決策でした。

当然ながら、COVID-19の世界的な流行は、現時点において、2020年のLNG需要にとって最も重要な出来事であり、その影響は需要サイドに、より深刻で長期化する可能性のある課題を生じさせています。世界中の都市で実施されたロックダウンにより人々の行動が制限され、不要不急のビジネスや娯楽施設、スポーツ会場、礼拝所が閉鎖されました。これらの隔離措置によってエネルギー消費が抑制されました。COVID-19の影響から経済が回復するまでにどれほどの時間を要するかは依然として不透明であり、現在も閉鎖されているビジネスのうちの多くがそのまま廃業となることは確実です。したがって、需要の軟化は当面続く可能性があります。

LNGスポット価格は約2米ドル/百万BTUと低いにも関わらず、現在市場にはアクティブな買い手はほとんどみられません。北東アジアの需要は依然として低迷しており余剰を生み出していますが、欧州の備蓄量はすでに最大限に達しており、これ以上余剰供給を吸収することはできないのです。

世界的なLNG市場の需給概況

需要見通し

COVID-19の影響により、世界的なLNG需要がCOVID-19発生前の水準に比べておおむね8%程度減少し、需要が以前の水準まで急速に回復しないと見込まれます。

ただし、中国は例外で、政府が経済の回復に向けた取組みを積極的に推進しています。市場専門家によると、2020年下半期には中国における需要がCOVID-19発生前の水準にまで回復すると見込んでいます。

プラス面としては、LNG価格の下落により他の種類の燃料、特に石炭に対する競争力が高まりました。実際、記録的に低いLNG価格により、石炭に依存している多くの国がLNGへの転換を加速する可能性があります。

同様に、価格の下落によりLNGのバンカリング（すなわち、天然ガスを船舶の動力として利用すること）や他の輸送手段への利用が促される可能性もあり、環境に優しいエネルギーを利用する方向に向かっている全体的な流れと一致しています。

供給見通し

過去最低水準にある現在のLNG価格は、特に米国を基盤とするプロジェクトにおいて、困難な状況にある生産者およびサプライヤーに多大な圧力をかけています。上記で説明したように、買い手、特に北東アジアおよび欧州におけるプレーヤーについてはすでに備蓄が最大量に達しており、さらなる供給を取り込むことはできません。

この供給過剰な状況によって、買い手は向こう数ヶ月間の輸送をキャンセルせざるを得ない可能性があります。生産者およびサプライヤーは、もし輸送のキャンセルを受け入れるのであれば、事業を再評価し、市場価格下落の状況でも利益を確保するために、オペレーティング・コストを削減する措置が必要となる可能性があります。このような措置には新規のLNG液化プロジェクトの延期が含まれる可能性もあります。しかし、プラント建設の延期は将来的な需給に影響を及ぼすことになります。

また、特に米国ではサプライヤーおよび生産者の再編が、一連のM&Aや統合に繋がる可能性があるでしょう。

発展途上国 – 市場参入する小規模プレーヤー

LNGは従来高価な燃料でした。液化施設の建設は費用と時間を要し、建設プロセスは非常に技術的で複雑なことによるものです。

市場競争の激化により価格は過去最低の水準にまで下落しましたが、依然としてLNGは新興国における電力ニーズを満たすには高価すぎると考えられています。また、プロジェクトを期限内に完了するには多額の資本が必要であり、契約には一定の規模が要求されることから、買い手は大規模なプレーヤーになる傾向があります。

しかし、LNG価格を圧迫しているCOVID-19およびその他の要因により、それらすべてが変わる可能性があります。

南アジア、南アメリカ、東ヨーロッパおよびアフリカの多くの国では、気候変動を考慮し、環境に優しいエネルギーへの転換が奨励されているものの、その価格の低さから石炭がエネルギー源として利用されています。LNG価格の下落により、これらの発展途上国は石炭からの転換を容易に行えるようになる可能性があります。

また、中国政府は、LNGの輸入を増加して石炭からの転換を早めるために、より多くの非国有企業に国外でのLNG生産を認めるようになるでしょう。

売り手および買い手への影響

このような動向は、LNGの買い手および売り手に多くの影響を及ぼします。

- 1 LNG生産業者は引き続き利益率への圧力に晒されるため、コスト効率の向上と経営のスリム化に注力する必要があります。
- 2 価格の下落により買い手のスポット購入への選好が強まるため、売り手には引き続き契約時における買い手からの圧力がかかる可能性があります。したがって、売り手はトレーディングや短期の交渉に関する商業的な手腕を高め展開していく必要があります。
- 3 買い手は自国の市場と地理的により有利な市場における裁定取引から価値を獲得しようとするため、引き続きカーゴを転売する自由を要求してくるでしょう。このことは、買い手が自国外における市場ダイナミクスや動向についての理解を深める必要があることを意味します。
- 4 石油およびガスの総合プレーヤーにとって従来の領域における利益率は引き続き厳しいものとなるため、LNG燃料および関連商品の下流領域で新たなポジションを開拓するという彼らの計画は、現在の環境において、前倒しで進行することになります。そのために、石油およびガスの総合プレーヤーは、LNGへのエネルギー転換やその転換を生み出し急速に進化しているバリューチェーンへの対応計画を加速する必要があります。

KPMG Global Energy Instituteについて

KPMG Global Energy Institute (GEI) は、エネルギー業界における最新の課題や新たなトレンドを共有するための世界規模のプラットフォームです。2007年に発足以来、音声・映像配信、出版物およびホワイトペーパー、ポッドキャスト、イベントならびにニュースレター等、さまざまなメディアチャンネルを通じて43,000人以上のメンバーが交流しています。重要なビジネストピックや業界課題を網羅した価値あるインサイトは、[KPMG Global Energy Instituteのホームページ](#)から購読可能です。

Contact us

関口 美奈

KPMGジャパン

エネルギー・インフラストラクチャーセクターヘッド

あずさ監査法人

エネルギー・インフラストラクチャー事業室室長

マネージング・ディレクター

T: 03-3266-7500

E: Mina.Sekiguchi@jp.kpmg.com

Christopher Young

Director, Energy Strategy & Operations

KPMG UK

T: +44 207 6948217

E: Chris.Young@kpmg.co.uk

本レポートで紹介するサービスの一部またはすべては、KPMGの監査クライアントおよびその関連会社に提供が認められない場合があります。

home.kpmg/jp/socialmedia



ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するように努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降における正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2020 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 20-1058

© 2020 KPMG LLP, a Delaware limited liability partnership and the U.S. member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. NDP101496-1A

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.